

2 令和5年度下半期の財政状況

○概況

令和5年度下半期においては、国補正予算と歩調を合わせた補正予算を編成し、喫緊の課題に対処しました。また、法人二税等が当初見込みを下回る見込みであったことなどから県税収入を減額補正するとともに、地方譲与税や地方交付税などが当初見込みを上回ったことから、これらの歳入を増額補正しました。また、県債の発行抑制や基金残高の確保を図り、将来世代の負担軽減や当面する課題への対応を図ることとしました。

○予算の補正状況

令和5年9月定例会議における補正予算編成後に生じた新たな課題や国の補正予算等への対応、さらには年度内における各事業の執行状況や最終的な財源見通しに基づく所要の調整等のため、予算の補正を行いました。その結果、令和5年度の最終予算額は、次のとおりとなりました。

一般会計	6,439億9,559万2千円 (対前年度最終 ▲580億7,919万9千円、▲8.3%)
特別会計	2,471億8,125万9千円 (対前年度最終 ▲22億6,605万1千円、▲0.9%)

付表 第9表 令和5年度下半期の歳入歳出予算の補正状況 → 51ページ

第10表 令和5年度一般会計性質別歳出予算（最終予算の比較） → 52ページ

○補正予算の主な内容

令和5年11月定例会議における補正予算

<国補正予算関連 令和5年12月12日県議会定例会提出>

国補正予算等に関係する事業について、一般会計で228億5,323万3千円の増額補正を行いました。主なものとしては、物価高により厳しい状況にある生活者・事業者への支援や防災・減災、国土強靱化に係る公共事業に要する経費などを計上しています。

令和6年2月定例会議における補正予算

<令和6年3月11日県議会定例会提出>

各事業の執行状況や最終的な財源見通しに基づく所要の調整を行い、265億3,748万4千円の減額補正を行うとともに、将来に向けた対応として、財政調整基金のほか、福祉・教育振興基金などの特定目的基金の残高確保、県債の発行抑制を行いました。

特別会計では、保険給付費等交付金の増など国民健康保険事業特別会計ほか4会計で増額補正を行うとともに、償還金の減などにより中小企業支援資金貸付事業特別会計ほか4会計で減額補正を行いました。

<繰越明許費 令和6年3月19日県議会定例会提出>

令和5年度予算のうち、地元や関係機関との調整などに時日を要し、年度内に事業執行の見通しが得られない事業について、繰越明許費の補正を行い、一般会計で108件、504億882万5千円を翌年度に繰り越しして使用し、事業の進捗を図ることとしました。

○予算の執行状況

一般会計については、収入は、寄附金や県債などで前年度を下回っており、全体として前年同期を下回る割合となっています。支出については、総務費や災害復旧費などで前年度を上回っており、全体として前年同期を上回る割合となっています。

一方、特別会計については、収入は、中小企業支援資金貸付事業や土地取得事業などで前年度を下回っており、また、支出も市町振興資金貸付事業や土地取得事業などで前年度を下回っており、収入・支出とも全体として前年同期を下回る割合となっています。

令和6年3月31日現在における収入および支出の状況

一般会計	予算に対する収入割合	84.1%	(前年同期 84.8%)
	支出割合	81.5%	(前年同期 79.5%)
特別会計	予算に対する収入割合	96.5%	(前年同期 97.2%)
	支出割合	94.2%	(前年同期 94.4%)

付表 第11表 令和5年度予算執行状況（令和6年3月31日現在） → 53ページ

○一時借入金の状況

年間の予算執行に当たって支払資金が不足する場合に、その不足を補うために一時的に当座借越等により借入を行っていますが、その状況は次のとおりです。

一般会計			
令和5年度借入限度額	1,200億円	(前年同期 1,200億円)	
令和6年3月31日現在の借入額	—円	(前年同期 —円)	
下半期の最高借入額	470億円	(前年同期 501億円)	